

弁理士試験を突破しよう

皆さん、ご入学おめでとうございます。知的財産学部での今後の学問修得に胸を躍らせていることではないでしょうか。

知的財産については、「プロの証」として「弁理士」という難関国家資格があります。

学生時代のうちに、あなたの将来に大きく貢献する「強力な武器＝弁理士資格」を取得してみませんか？この資料に記載されている「合格のための仕組み」の全てをフル活用して、1年生の頃から取り組むことで在学中の突破も夢ではありません。

現に、在学中に弁理士試験を突破するという夢を実現した先輩は複数おり、合格者を輩出しています。そのような先輩を見習って、現役大学生での弁理士試験合格を目指しませんか？

あなたの人生に大きな影響を与える「覚悟」と「決断」を要する重要な情報がこの案内には記載されています。必要に応じてご父兄と一緒に検討してください。

【A】 弁理士試験について

近年の合格率は5%前後の知的財産に関する超難関国家資格です。

弁理士になるためには、毎年1回行われる弁理士試験に合格することが必要です。

弁理士試験は、一次試験である【短答式試験】、二次試験である【論文式試験】、三次試験である【口述試験】からなり、前段階の試験に合格した者のみが次段階の試験を受験することができます(本学知的財産専門職大学院の修了による部分的な免除制度はあります)。

各試験の実施時期と合格発表時期(カッコ内)はおおよそ下記の通りです。

短答式試験：5月中旬～下旬(6月上旬)

論文式試験：7月上旬～中旬(9月下旬)

口述試験：10月中旬～下旬(11月上旬)

弁理士試験にチャレンジする学生、迷っている学生は、下記の内容を説明します。

日時： 4月2日(火) 234教室 15:30ー

4月4日(木) 133教室 11:30ー

内容：① 弁理士と弁理士試験

② 本学の弁理士試験受験の支援体制

弁理士試験受験特別講座(略称：弁理士講座)

知的財産法総合入門Ⅰ・Ⅱ 知的財産総合応用Ⅰ・Ⅱ

(弁理士試験の受験者を目指す初学者向けの科目)

受験料補助、合格奨励金等

連絡先：メール(tatsushi.gocho@oit.ac.jp)もしくは五丁研究室(1号館10階)まで

【B】 知的財産総合入門Ⅰ・Ⅱ & 知的財産総合応用Ⅰ・Ⅱの聴講

知的財産学部の講義には、弁理士試験をターゲットとした科目はありませんが、学習事項

習得知識とスキルの面から、下記4科目は実質的には弁理士試験のために必要とされる基本が網羅されています。

1. 科目名： 知的財産総合入門Ⅰ（前期、選択1単位、2～4年生対象、水曜5限）
知的財産総合入門Ⅱ（後期、選択1単位、2～4年生対象、水曜5限）
知的財産総合応用Ⅰ（前期、選択1単位、3～4年生対象、金曜5限）
知的財産総合応用Ⅱ（後期、選択1単位、3～4年生対象、金曜5限）

2. 内容

これらの4科目は、弁理士試験の出題範囲である知的財産法全法域を網羅する基本科目です。必要最低限の基礎知識の習得を目指した科目であるとともに、法律解釈や法的思考の基礎を固めることに重点を置いた科目です。

在学中の弁理士試験合格を目指すのであれば、1年次から毎年出席・聴講（2年次以降の該当年次で履修処理を行ってください）し、徹底的に基礎を鍛えてください。

講義には、毎年出席している学生が多数のため、毎年難易度や内容・解説方法を変えながら進められています。

3. その他

(1) 科目の位置づけ

知的財産総合入門Ⅰ・Ⅱ、知的財産総合応用Ⅰ・Ⅱはセットになっており、全て受講して初めて全体が網羅される構成となっています。

弁理士試験にチャレンジする学生はすべて聴講・履修を問わず受講してください。

(2) 講義内容

特許法、実用新案法、意匠法、商標法、不正競争防止法、著作権法、条約類について基礎知識を講義し、かつ条文の趣旨等を解説します。

(3) 講義のレベル

①弁理士試験（特に一次試験及び二次試験）で出題頻度の高い条文・規定の解説が網羅されています。これらの講義は、普通の授業より内容が高度ですが、わかりやすく入門レベルから解説を行うため、初学者でも十分について行くことが可能です（昨年も1年次から受講している先輩が大勢います）。結果として、1年次から聴講した学生は、2年次以降に学習する専門科目の理解度も格段に上がっています。

②予習は都度指示をします。復習は必須です（講義の録音と資料は全て学内SNS（コミレポ）にアップされますので、復習に役立てることができます）。

(4) 教科書・参考書

シラバスに教科書・参考書を記載しています。法律・条約は時々改正されるので、シラバス記載の書籍を購入するときは最新版を購入してください。

4. ガイダンス

4月5日（金）5限の「知的財産総合応用Ⅰ」の第1回講義時及び4月10日（水）5限の「知的財産総合入門Ⅰ」の第1回講義時に、知的財産総合入門Ⅰ・Ⅱ、知的財産総合応用Ⅰ・Ⅱのガイダンスをします。聴講する学生はシラバスを一読のうえ必ずどちらかに出席してください。

【C】 弁理士試験受験特別講座（通称：弁理士受験会）の受講

日時：2024年4月13日（土）～2025年3月8日（土）、13:20～16:30（例外あり）

2024年4月6日（土）13:20～16:30 プレ勉強会（お試し勉強会）

場所：追ってお知らせします

内容：講義 72 コマ（1 コマ 90 分で 1 回に 2 コマ実施）、模擬試験 4 回、
毎週の講義について：

- ①事前配布する予習問題を各自で回答。
- ②当日は、予習問題のポイントを取り上げて解説するとともに、法律上の問題点・重要ポイントを議論・講義します。
- ③復習は、問題集（各自で購入していただきます）の該当範囲の問題を回答、チェック。

講師は弁理士が担当します。

【D・E】 弁理士試験受験特別講座ミドルコース・アドバンスコースの受講

曜日時間：火曜日 17:00～19:00（例外あり） ミドル/アドバンス隔週開催

場所：1号館9階 大学院セミナー室2（予定）

内容：講義それぞれ 25 コマ程度（1 コマ 120 分実施）

毎週の講義について：

- ①前週に予告した範囲について基礎的事項を予習。
- ②当日は、条文上の解釈や論点を即答形式で確認し、議論を行う。
- ③知的財産法に関する論述練習
- ④該当範囲の論点と基本事項をノートにまとめて定着させる。

【C】の弁理士受験会と【F】の知財塾で1年間以上学習して基礎力を十分に身につけた学生を対象とした発展コースです。内容は、弁理士試験2次試験（論文試験）・3次試験（口述試験）を視野に入れた少人数ゼミです。【C】【F】の受講者の中から指名・選抜形式で対象者を選定します。

【F】 知財塾の受講

こちらは五丁が2012年4月より毎週土曜日に開催している私的な勉強会です。

社会人も参加しており、弁理士試験突破のレベル感を実感しながら切磋琢磨できる場となっており、現在は、弁理士試験を目指す学生の「基礎講座」的位置づけとなっています。運営は社会人メンバーからの支援で行われています。

日時：2024年4月6日（土）～2025年3月29日（土）、9:30～12:30（例外あり）

在学中は参加費無料。年末（12/30）～正月（三が日）に土曜日が該当する場合以外は原則として休みはありません（例外的に、他に休みとなることはあります）。

場所：追ってお知らせします

内容：講義 50～53 コマ（1 コマ 180 分）

毎週の講義について：

- ①弁理士受験機関などで使用しているテキストを使用します。
- ②テキストと条文に沿って、法律内容の理解を徹底的に磨きます。
- ③午後には有志で勉強会を継続しています。

講師は原則五丁が担当します。

【G】 自主勉強会の開催

2024年度は木曜日4限（15:20～17:30）の時間帯（未確定）に、2、3年生主導の勉強

会を開催します。1年生の参加は大歓迎です。上級生とともに、基礎を徹底的に定着する場です。各法律条文を取り上げ、内容の理解と基本事項のチェックを中心に進めます。

日時：2024年4月11日（木）開講、17:30～19:30（仮：曜日時間は学生間で調整）

場所：1号館9階 大学院セミナー室2（予定）

内容：基本書のチェックと条文のチェック、理解を深める解説

毎週火曜日開講。スケジュールや内容は全て参加者で決定して、成長していく場です。

金銭的な支援【在学中のみ】

受験料1.2万円支給、短答合格6万円支給、最終合格は更に30万円支給

* 短答合格奨励金は1回のみ支給。

まとめ

弁理士試験を検討してみようという学生、迷っている学生は、

知的財産学部 五丁龍志

研究室：1号館10階

メールアドレス：tatsushi.gocho@oit.ac.jp

まで気軽にご相談ください。

2年次から始めても、在学中の合格は困難です。社会人になったときに、資格が必要と感じた際に、必ず「学生時代に勉強しておけばよかった」と後悔します。将来に備えたい学生は、悩んでいても始まりません。必ず相談してください。

（1年次から取り組んでいる先輩学生が多くおりますので、話を聞いてみたい人は五丁まで相談してください。）

<以上>